

HOT・ホットとくまもと



「HOT・ホットとくまもと」は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。市長は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。

初心を忘れず市政改革

「HOT・ホットとくまもと」は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。市長は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。



打ち合わせ中、予定よりも長びくこともしばしば

「HOT・ホットとくまもと」は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。市長は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。



「HOT・ホットとくまもと」は、市民の皆さんの声を形に、市長と市民が対話する場です。

「みなさまの声を形に」

このころで(中村)



私たち「幸山政史事務所」では、市長として公務を務める傍ら、政治家幸山政史が皆様の身近な存在であり続けたいと、ご要望にお答えできるものには限られた時間の中で、様々な形でその声の実現に取り組んでいます。

「ただの市民のグループですが、私達のグループの会で講演をやっていただけでいいですか?」と、そんな電話を事務所です受付しました。

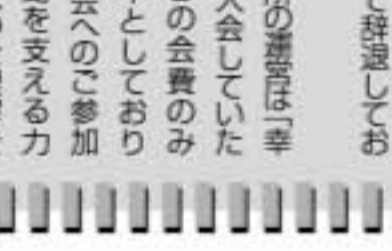
事務所では会の趣旨、目的等をお尋ねして、市長とも検討し時間の調整をおこなって平日の公務終了後の時間から実現できました、それが以下の市長講演です。

1 グループ
幸山政史を応援する女性中心の支持者の会「幸(さち)の会」

2 グループ
「コスモ愛和音」様主催の講演会と討論会



3 グループ
「わくわくフォーラム」様主催の月例会



関係者、当日会場のボランティアの方、ご参加の皆様にはこの場を借りまして事務所より心よりお礼を申し上げます。

また本人による講演等の講演料、謝礼の類、そして事務所におきましてもお中元、お歳暮、贈答品の類、年末のカレンダー等全て辞退しております。

（後日この時のテープを頂き、講演の内容が日頃の本人の話題と違って、大変おもしろいと好評なので、ご希望があればお貸し出しいたします）

「みなさまの声を形に」のこのころで(中村)というテーマで、市長と市民が対話する場です。

- (1) 今回の新聞郵送の宛名、住所が違っている方
(2) 皆さんのお近くで応援して頂いている方でまだ私の新聞が届いてない方
(3) お知らせください、これから新聞を読みたいという方

上の項目に該当する方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記の連絡先までご連絡下さい。宜しくお願い致します。

幸山政史事務所

〒861-5535 熊本市貝町378-1
電話/096-245-3525 FAX/096-245-4909
http://www.kohyama-office.com/

活動報告



■ハイデルベルク市の訪問

友好都市ハイデルベルク市の市長、市長夫人、市議会議員らと共に、ハイデルベルク市を訪問しました。



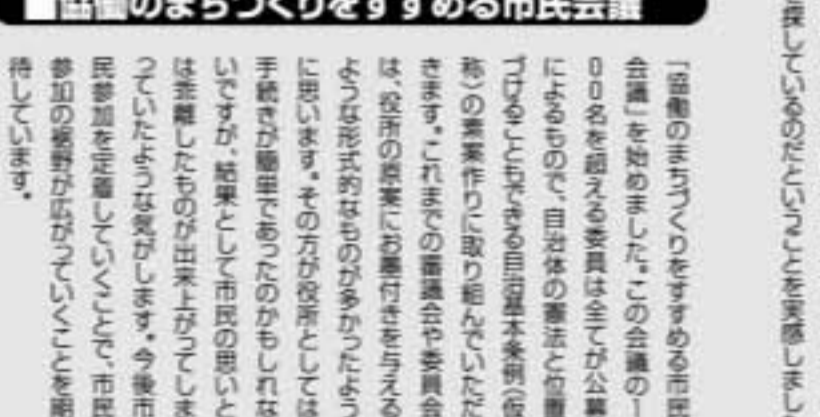
■30人学級を視察

少人数学級のモデル校を視察し、授業の様子や生徒の学習の状況などを視察しました。



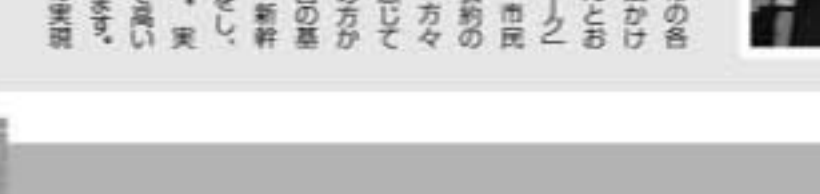
■高校生との懇親

市内の高校を訪れ、生徒らと懇話会を開催しました。



■協働のまちづくりをすすめる市民会議

「協働のまちづくり」を推進するため、市民会議を開催しました。



■おでかけトーク

市内各地を巡回して「おでかけトーク」を開催しました。



■末續選手にスポーツ特別功労者表彰

市内で活躍した末續選手らに、スポーツ特別功労者表彰を行いました。

直撃インタビュー

今回は幸山市長が取り組んでいる、三位一体での見直しについて考えを聞きました。

「記者」本市をとり巻く社会経済情勢の変化への対応や、リアルタイムで市民ニーズを反映した市政運営、さらには極めて厳しい財政状況を踏まえた財政の健全化など、本市に課せられた財政運営における課題解決のための取り組みが、本市の市政運営の基本的戦略を示す「まちづくり戦略計画」、効果的・効率的な行政体制の整備を目指す「行政改革推進計画」、そして、財政の健全化を実現するための「財政健全化計画」の3つの計画を策定するために、本年度「三位一体の見直し」を推進しています。



「記者」三位一体の改革をどのように進めたいとお考えですか?
「市長」本市は本市の危機的な財政状況があります。これまで財政健全化に向けた課題としては、削減が中心でしたが、削減だけでは限界があります。削減だけでなく、増収も必要です。

「記者」三位一体の改革を進める上で、市民の理解と協力を得ることは重要だとお考えですか?
「市長」市民の理解と協力を得ることは、三位一体の改革を進める上で非常に重要です。市民の声を形に、市長と市民が対話する場を設けて、市民の理解と協力を得たいと考えています。

「記者」今後の取り組みのスケジュールはどのようになっていますか?
「市長」10月中旬に計画の中間報告を行い、年度内には最終的な計画を策定予定です。計画では出来る限り数値目標やスケジュールを示すことで、計画策定後は先送りすることなく速やかに実行に移します。また計画策定後、市民の理解と協力を得るための取り組みも進めています。

「記者」市民の皆様にお伝えしたいことがあればお願いします。
「市長」今受けている行政サービスに関して、一部自己負担をお願いしたり削減するところも出てくると思います。ご理解とご協力をいただきたいと思います。